

吸引が終わったら

1 一体型の場合

1. 吸引源をOFFにし、インレットエルボをそれぞれのインレットに接続してください。
2. プランジャーを90°回転させて下まで押し込んでください。凝固剤が投入されます（ほとんどの排液は約1時間で凝固します）。
3. 内部が凝固していることを必ず確認し、片手でキャニスターを支え、もう一方の手でバッグタイプの突起部分を持ち上げた後、凝固剤ユニットを持ってバッグタイプを取り出してください。

⚠ 注意

チューブが外れ、バッグ内の排液が飛散する恐れがありますので、チューブを持ちながらバッグタイプを取り外したり、持ち運んだりすることは避けてください。

4. バッグタイプを院内の「廃棄物処理規定」に従って処理してください。

2 排出型の場合

吸引源をOFFにし、インレットエルボをそれぞれのインレットに接続してください。

1. 排液を凝固する場合

- ① センターキャップを外し、凝固剤ユニットをセットします。クリック感がするまで時計方向に回してください。
- ② 凝固剤ユニットのプランジャーを90°回転させて下まで押し込んでください。凝固剤が排液中に投入され、凝固が始まります。
- ③ 内部が凝固していることを必ず確認し、片手でキャニスターを支え、もう一方の手でバッグタイプの突起部分をしっかりと持ち、バッグタイプを取り出してください。

2. 排液を排出する場合

- ① 片手でキャニスターを支え、もう一方の手でバッグタイプの突起部分をしっかりと持ち、バッグタイプを取り出してください。
- ② 排液を排出してください。

バッグタイプを院内の「廃棄物処理規定」に従って処理してください。

⚠ 注意

吸引後の操作はすべてゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を着用し、十分注意して作業を行ってください。

⚠ 使用上の注意

1. 本製品は専門の教育を受けた者のみが使用すること。
2. 本製品を使用する前には、必ず表示事項及び取扱説明書を熟読し、その内容を熟知すること。
3. 本製品を使用目的以外の用途には使用しないこと。
4. 医療ガス配管設備 JIS T 7101 に規定する吸引供給装置以外には接続しないこと [陽圧やその他の配管に接続すると患者、使用者及び装置に損傷を与える、又は性能が変化する可能性がある]。
5. 使用する流量及び圧力に関しては、術法、対象部位、大きさ、患者の体格と年齢、使用者の経験及び技法を勘案して行うこと。
6. レギュレータ及び貯溜容器並びに先端具等は、使用前に磨耗や亀裂がないか、又は著しい劣化がないか点検すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
7. 使用前にレギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。レギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等を再セットアップした場合も同様に、正常に作動することを確認すること。
8. 使用中に異常を感じた時は、使用を中止すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
9. アルコール等の有機溶媒を吸引しないこと [フローストッパーからの排液漏れや、凝固不良の原因になる]。
10. 過貯溜防止装置 (フローストッパー) が作動するまで吸引しないこと。
11. 過貯溜防止装置 (フローストッパー) が作動して吸引が停止した場合、そのまま放置せず速やかに医療配管設備の供給状態を停止し、貯溜容器を交換すること [ボトル又はバッグに高い圧力が負荷され破損の恐れがある]。
12. 使用後はインレットエルボをインレットに確実に接続し、貯溜容器を密閉すること。
13. レギュレータの操作において無理な力を掛けないこと。
14. 吸引圧力の調整に際しては患者側に吸引圧がかからないように吸引チューブを閉塞し、開閉バルブを [OPEN] 側にしてから、圧力調整ノブを回して吸引圧を調整すること。
※レギュレータ RG-200 の場合
吸引圧を調整する際、圧力調整ノブの回転ロックを外すこと。
15. 使用中に圧力調整ノブに接触した場合は使用を一旦中止し、吸引圧を再設定の上、使用すること。
※レギュレータ RG-200 の場合
レギュレータの圧力調整ノブの誤回転防止のため、吸引圧力の調整時以外は圧力調整ノブに回転ロックをかけておくこと。
16. レギュレータの異常、吸引力の低下、誤吸引においてレギュレータを汚損した場合又はレギュレータに落下などによる衝撃を与えた場合には直ちに使用を中止し、弊社担当者まで連絡すること。
17. 使用後、持ち運ぶ際にはバッグ、ボトル本体を持つこと [チューブ等を持って運ぶと接続部が外れ容器内の排液が飛散する恐れがある]。
18. 使用後は院内の「廃棄物処理規定」に従って処理すること。
19. 使用後に排液を排出する場合 (排出型のみ) は、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用すること [排液が飛散する恐れがある]。
20. 本製品を採血用吸引器として、絶対に使用しないこと。
21. 一つの医療ガス配管設備では一つの吸引を行い、ふたまた等の同時使用は絶対に避けること。
22. 吸引チューブは直接患者に適用せず、必ず先端に適切な先端具を接続して使用すること。
23. レギュレータ及び貯溜容器を取り替える場合、必ず医療配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
24. 本製品を設置するときには、次の事項に注意すること。
イ. 水のかからない場所に設置すること。
ロ. 温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
ハ. 傾斜、振動、衝撃 (運搬時を含む) など安定状態に注意すること。
ニ. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
25. 本製品を使用する前に次の事項に注意すること。
イ. レギュレータ及び貯溜容器並びに各チューブや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態等の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 凝固剤及び過貯溜防止装置 (フローストッパー) の水漏れに注意すること。
26. 本製品の使用後は次の事項に注意すること。
イ. 定められた手順により、開閉バルブ、圧力調整ノブ等を使用前の状態に戻した後、医療ガス配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 塩素系殺菌剤は注入しないこと [凝固を妨げる恐れがある]。
27. 本製品が故障したときは、修理専門業者若しくは弊社に依頼すること [不完全な修理は正常な機能や安全の保障ができないため]。
28. 消耗品は弊社純正品を使用すること [不完全な部品の交換は正常な機能や安全の保障ができないため]。
29. 本製品の分解・改造は絶対にしないこと [正常に作動しなくなる恐れがある]。
30. キャニスターやレギュレータはアルコール等の有機溶媒で清拭しないこと。
31. 本製品は室温で使用すること。
32. レギュレータの真空計には衝撃を加えないこと [ガラス面が破損する恐れがある]。
33. ボトルタイプの排出型 (微量ボトル) はファイナルボトルとしての使用はしないこと。
34. 貯溜バッグ、貯溜容器を取り出す際は、レギュレータの突出部等に引掛けて落とさないように注意すること。
35. レギュレータの目盛は正面から読み取ること。
36. 万一の吸引配管汚染防止のため、配管保護装置 (フローストッパー) を装着すること。吸引が弱くなったら、配管保護装置を交換すること。
37. レギュレータを専用架台に取り付ける際は、スパナ 2 本を使用して固定すること。
38. 貯溜バッグ及び貯溜ボトルの EOG 滅菌やオートクレーブ及びウォッシュャーステレライザーによる熱湯消毒等は避けること。
39. キャニスター又はチューブ類を滅菌する場合は、EOG 滅菌 (温度 50℃ 以下、湿度 75% RH 以下) 以外は行わないこと。
40. 貯溜バッグは弱い材質でできているので、開封時の刃物による破損に注意すること。
41. 貯溜容器に横から衝撃を与えないこと。

一般医療機器 特定保守管理医療機器 / 一般的名称: 真空吸引器 / 医療機器届出番号: 27B1X00013000001 / 販売名: フィットフィックス

フィットフィックス® 取扱説明書

FF1Lバッグ壁掛けセット (DKI-FF765 K・A)

FF2Lバッグ壁掛けセット (DKI-FF767 K・A)

FF1Lボトル壁掛けセット (DKI-FF766 K・A)

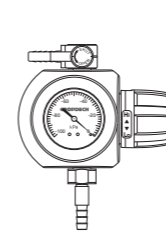
FF2Lボトル壁掛けセット (DKI-FF768 K・A)

■規格

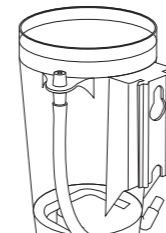
品番	品名	構成品
DKI-FF765K*	FF1Lバッグ壁掛けセット	下図セット内容 (FF1L (2L) バッグ壁掛けセット) 参照
DKI-FF765A*	FF1Lバッグ壁掛けセット	
DKI-FF767K*	FF2Lバッグ壁掛けセット	
DKI-FF767A*	FF2Lバッグ壁掛けセット	
DKI-FF766K*	FF1Lボトル壁掛けセット	下図セット内容 (FF1L (2L) ボトル壁掛けセット) 参照
DKI-FF766A*	FF1Lボトル壁掛けセット	
DKI-FF768K*	FF2Lボトル壁掛けセット	
DKI-FF768A*	FF2Lボトル壁掛けセット	

*品番末尾の記号Kは川重・セントラルユニ式 (ピン式)、Aはアムコ式 (シュレーダ式) を表します。

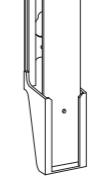
■セット内容 (FF1L (2L) バッグ壁掛けセット)



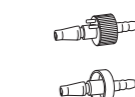
レギュレータ
医療機器届出番号：
27B1X00013000001



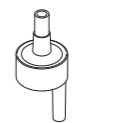
キャニスター1Lまたは
キャニスター2Lファイナル
医療機器届出番号：
27B1X00013000001



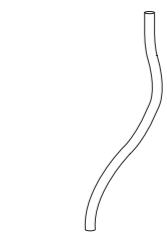
キャニスター用
フック



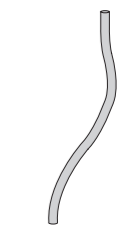
配管アダプター
K: 川重・セントラルユニ式 (ピン式)
または
A: アムコ式 (シュレーダ式)



配管保護装置
(フローストッパー)
医療機器届出番号：
27B1X00013000001

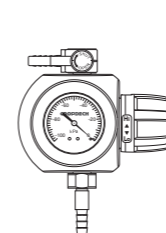


シリコンチューブ

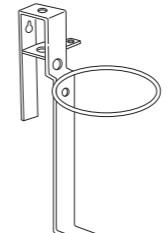


耐圧チューブ

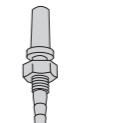
■セット内容 (FF1L (2L) ボトル壁掛けセット)



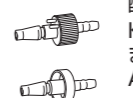
レギュレータ
医療機器届出番号：
27B1X00013000001



FFボトルホルダー1L
または
FFボトルホルダー2L



樹脂製ニップル
(灰色)



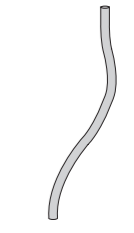
配管アダプター
K: 川重・セントラルユニ式 (ピン式)
または
A: アムコ式 (シュレーダ式)



配管保護装置
(フローストッパー)
医療機器届出番号：
27B1X00013000001



シリコンチューブ



耐圧チューブ

製造販売業者

大研医器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-6-2

カスタマーセンター

TEL 0725-51-2138

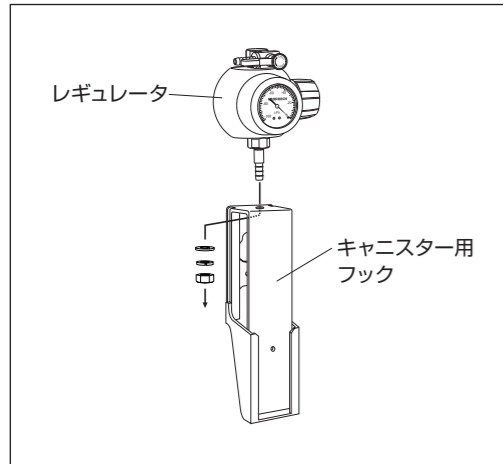
フリーダイヤル ☎ 0120-233-036

1309B < 社内管理番号 : 0600450101 >

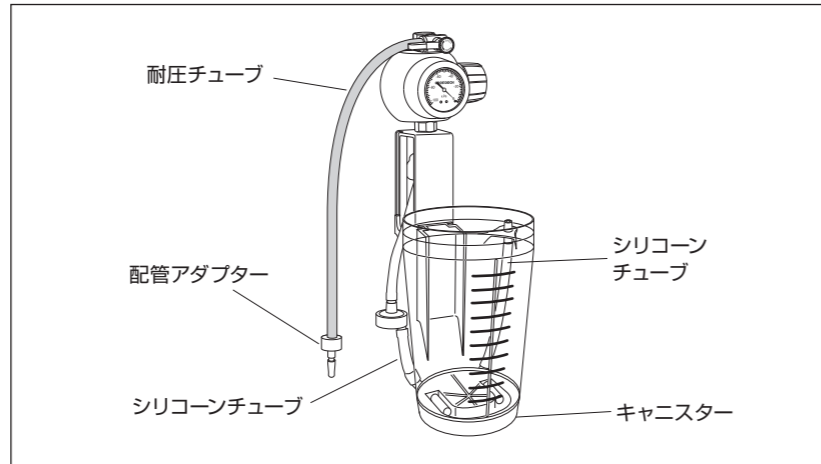


FF1L (2L) バッグ壁掛けセットの操作方法

1 組立手順



1. キャニスター用フックとレギュレータを固定します。

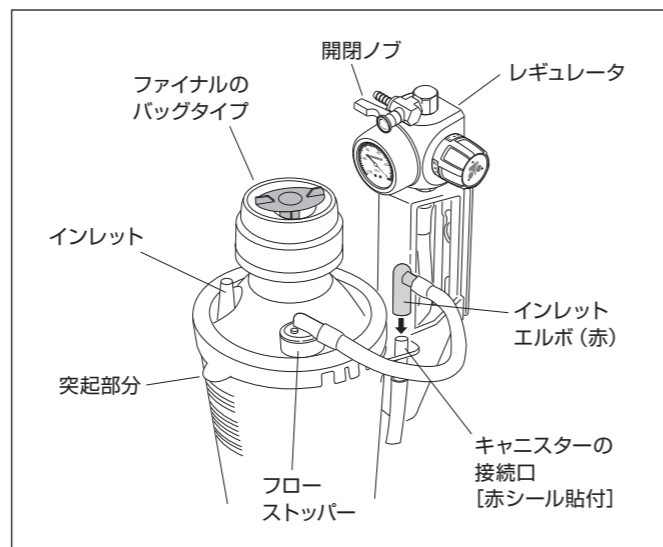


2. キャニスター、シリコンチューブ、耐圧チューブ、配管アダプターを接続します。
※ 図はキャニスター1Lですが、キャニスター2Lファイナルも同様に組み立てられます。

注意
● 組立後のバッグ壁掛けセットを持ち運ぶ際は、必ずバッグがない状態で、キャニスター用フックを持って運んでください。

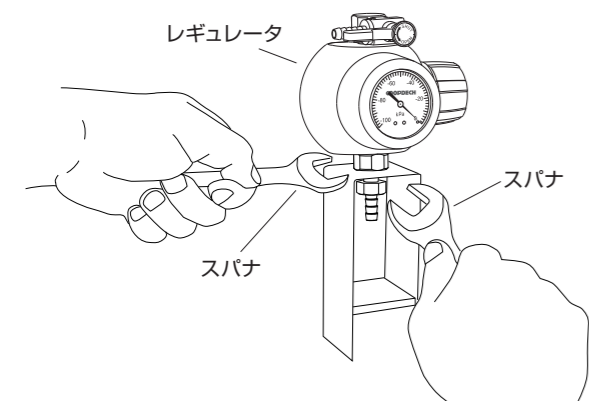
2 吸引操作

1. キャニスターへファイナルのバッグタイプを装着する際、突起部分が手前にくるようにし、バッグをしっかり伸ばしてから、全体を強めに差し込んでください。
2. バッグタイプのインレットエルボ(赤)を、図のようにキャニスターの接続口(透明) [赤シール貼付] に差し込んでください。
3. 吸引チューブをインレットに差し込んでください。吸引チューブを閉塞し、開閉ノブをOPENにしてからレギュレータの吸引圧を調整してください。その際、バッグタイプがキャニスターに正しく装着されていることを確認してください。

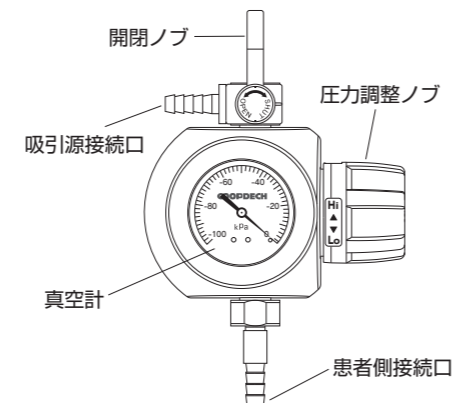


組立時の注意事項

キャニスター用フック、フィットフィックスホルダーにレギュレータを固定する際には、図のようにスパナを2本使用してください。



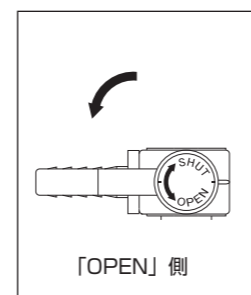
【レギュレータの操作方法】



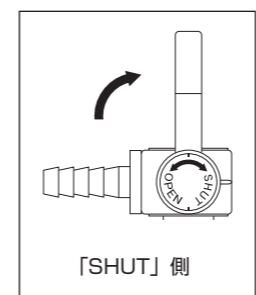
【仕様】 目盛範囲：0～-100kPa 真空計の精度：±3kPa 以内
目盛単位：2kPa 保管条件：周囲温度 -5～40℃ 湿度 10～80%RH (結露無き事)

【吸引の開始、停止】

開閉ノブを [OPEN] 側に戻すと吸引を開始します。

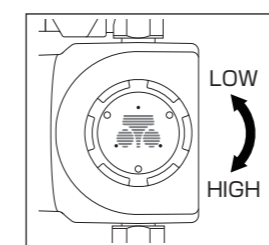


開閉ノブを [SHUT] 側に戻すと吸引を停止します。



【吸引圧力の調整】

圧力調整用ノブを [HIGH] 側 (時計回り) に回すと吸引圧力は強くなり、[LOW] 側 (反時計回り) に回すと吸引圧力は弱くなります。[LOW] 側いっぱいまで回すと吸引が停止します。



※吸引圧力の調整を行う場合は、開閉ノブを [OPEN] 側にし、患者側のチューブを閉塞してください。

注意
● 吸引源接続口と患者側接続口を逆につながないでください。レギュレータが故障する恐れがあります。
● 改造や、ご自身の修理は絶対にしないでください。

【保守・点検に係わる事項】

1. 本製品及び部品は必ず定期点検を行うこと。
2. しばらく使用せずに再使用する時は、使用前に必ず正常かつ安全に作動することを確認すること。
3. 消毒剤を用いて清掃する際の消毒剤例を下記に示す。消毒剤の使用にあたっては、各消毒剤の添付文書に従うこと。
 - 0.2～0.5% 塩化ベンザルコニウム水溶液 (オスバン等)
 - 0.2～0.5% 塩化ベンゼトニウム水溶液 (ハイアミン等)
 - 0.1～0.5% クロールヘキシジン水溶液 (ヒビデン等)
4. 消毒剤を使用した場合は、水又はゆるま湯を湿したやわらかい布等で消毒剤をふき取り、清潔でやわらかい布等で余分な湿気をふき取ること。

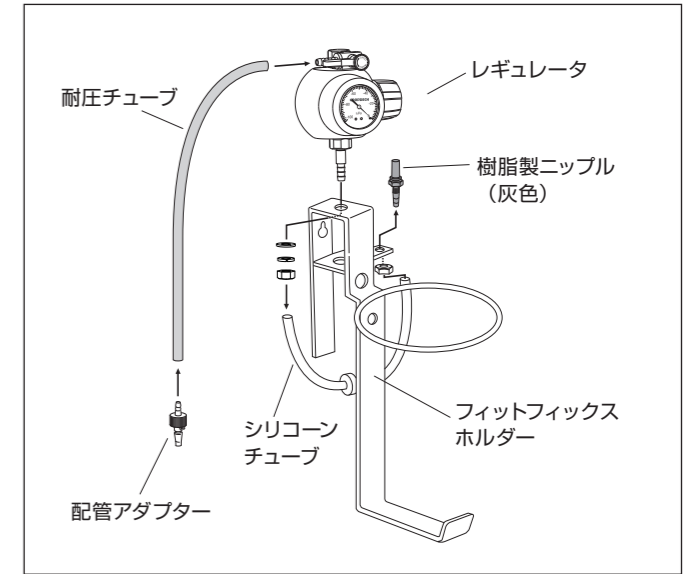
点検項目	点検頻度	点検内容
使用前点検	毎回	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の外装及び操作部の破損 ● 開閉バルブによる吸引の開始、停止 ● 開閉バルブ [SHUT] 時の真空計の値 [0kPa] ● 圧力調整ノブの回転に伴う吸引圧力の変化

FF1L (2L) ボトル壁掛けセットの操作方法

1 組立手順

1. FFホルダーにレギュレータと樹脂製ニップル (灰色) を固定します。
2. 患者側接続口と樹脂製ニップル (灰色) の下部を付属のシリコンチューブで接続します。
3. 吸引源接続口へ耐圧チューブと配管アダプターを接続します。

注意
● 組立後のボトル壁掛けセットを持ち運ぶ際は、必ずボトルがない状態で、フィットフィックスホルダー (リング部以外) を持って運んでください。



2 吸引操作

1. ファイナルのボトルタイプのインレットエルボ (赤) を、樹脂製ニップル (灰色) [赤シール貼付] に差し込んでください。
2. 吸引チューブをインレットに差し込んでください。吸引チューブを閉塞し、開閉ノブをOPENにしてからレギュレータの吸引圧を調整してください。

